

私たちの在宅医療



在宅医療歴 1年6カ月

末期であってもできる限りの医療を

食道がんの末期で在宅医療を始めたAさん。その奥さんは在宅医療をこう振り返ります。「平日は点滴やケアのため看護師さんが毎日訪問してくれました。土日は在宅医の先生が様子を見に来てくれて、精神的な支えはとても大きかったです。言葉にはできないような不安な感情に対してもきちんとフォローしていただき、とても安心感がありました。また主人は『まだできるこ

とが何かあるのではないかと生きることに前向きな人だったので、その都度、大病院で対応する段取りを立ててくださるなど、できる限りの医療を提供していただけたと思っています。在宅医療は一人では無理だと思いますが、在宅医の先生をはじめ訪問看護師さんのフォローがあれば何とか頑張ることができる、そう思います」



在宅医療歴 6カ月

体に医療器具の管が何本も付いた状態から体質が改善、顔もふくよかに

重篤な心不全と大腸を全摘し、消化機能に問題があるBさん。在宅で日々介護する娘さんは次のように語ります。「母は1年半くらい入退院を繰り返し、最後の入院時は流動食で体に何本も医療器具の管が付いた状態でした。このまま入院していても心身ともに落ち込んでいくばかりで、何とか家に帰らせたいとの思いがつのり、在宅医療を決意しました。在宅医療では何かあつ

たときにしっかり対応してもらえる連携施設があることを選考基準にしました。在宅医療を始めてからは、次々に管が外れていき、みるみる元気になっていきました。信頼できる在宅医とめぐり合い、好きなものを食べ、好きなことをして体質も変わっていったのかもしれません。いまでは顔もふくよかになり、鏡を見てにっこりすることもあります」



在宅医療歴 8年

家族ぐるみでお世話になっています

78歳のときに小脳出血を発症し、以来、介護が必要となったCさん。現在、要介護5。ここ2、3年で認知症の症状も顕著だといいます。在宅医療はケアマネジャーの紹介で始まりました。介護するCさんのご主人は在宅医療に次のような印象を持っています。「基本的に訪問診療は月に2回です。診療所から近いこともあり、何かあれば電話して往診していただきます。妻の食

事は私が作っているのですが、糖尿病も併発しているので甘いものは極力控えています。現在、ヘルパーさんを利用し、デイサービスに週3回のペースで通っています。在宅医の先生には本人だけでなく、家族ぐるみでお世話になっています。孫が体調面で気になることがあれば往診の際に一緒に診てもらうなど、本当に助かっています」



医療法人 光誠会

しろばとクリニック

しろばと訪問看護ステーション

しろばと在宅医療介護情報センター

しろばと緩和ケアホーム

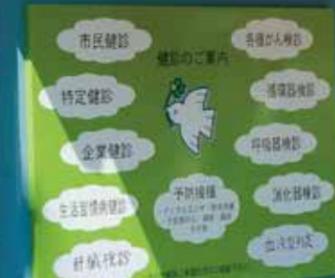
しろばとメディカルケアホーム



特定健診・市民健診
企業健診・各種がん検診

しろばと健診センター
TEL: 072-928-4877

内科・外科
在宅医療
しろばとクリニック



院長あいさつ（医療法人 理事長）

近年、老衰や末期がんなどで自分の最期を自宅で過ごされたい方が多くおられます。住み慣れた自宅や施設でのゆっくりとした療養生活を支える事、また心に寄り添える医療介護を実現する事は容易な事ではありません。そのため、私たちは日々の研鑽しております。

また、現在医療と介護の多くの事業所さんと連携し自宅での看取りも大切ですが、それまでいかに過ごすかが大切だと思っています。看取りはその先にあるものです。医療と介護は心のある仕事です。私たちは患者さんに寄り添い続ける事を目標にしております。



医療法人光誠会 しろばとクリニック

院長 栗岡 宏彰

経歴 金沢医科大学卒業
 医療法人徳州会 宇治徳州会病院
 医療法人和幸会 阪奈中央病院
 医療法人銀生会 今川病院
 医療法人気象会 東朋八尾病院
 しろばとクリニック

学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本在宅医学会
 日本消化器内視鏡学会 日本救急医学会

資格 日本内科学会認定 総合内科専門医
 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医
 日本救急医学会認定 救急科専門医

しろばとクリニック5つの特徴

1. 救急科専門医でもある経験豊富な医師がサポートしております
2. 緊急時は 365日24 時間対応しております
3. 事業所間の連携をしっかりとる事によりスピーディーに対応します
4. 在宅での検査処置も充実し、診断・治療が迅速に対応可能です
5. 人生の最期を自宅で安心して療養する事を支えます



2025年問題に対峙する

緩和ケアと看取りに注力した在宅医療

取材協力 医療法人光誠会 しろばとクリニック 院長 栗岡 宏彰

緩和ケアと看取りに特化した在宅医療

団塊世代が75歳に達する2025年を見据え、緩和ケアと看取りを中心とした在宅医療を提供するしろばとクリニック（大阪府八尾市）。全国でも有数の看取り実績を持ち、超高齢化時代の在宅医療のモデルの一つとして注目されている。「救えない命、心だけは救う」という理念のもと、年間100人以上在宅看取りを行う栗岡宏彰医師。緩和ケアと看取りに特化した在宅医療について聞いた。「病院での緩和ケア病棟は病床数も少なく、末期がん患者さんが最期まで療養する環境にはなく症状が悪化した場合に受け入れ、良くなれば自宅へ戻すというように流動的です。一方、在宅医療の緩和ケアの考え方は『患者さんの生活を支えること』です。症状の緩和だけでなく、趣味を楽しんだり、

医療依存度が高い患者の受け入れ体制も充実

好きなものに囲まれたりと、より自分らしく生きられるようサポートします。緩和ケアを在宅医療の一環として行うことは、その目的にならうと考えています」

同院の在宅医療の患者は、がん、老衰、臓器不全などの終末期で医療依存度が高い高齢者だ。このような人が住み慣れた自宅で暮らす意義は大きいと栗岡医師は話す。「人生の最期を自宅で過ごせるかは私たち医師にかかっています。自宅での療養や看取りができる環境を整備し、患者さんに安心・安全に暮らしていただく。これが私たちが提供する在宅医療です」

人生の終末期において「その人にとっての生活の質」に引き合い、医療、介護、生活を一体で支援する在宅医療。2025年問題に対峙するモデルとしてこれからも進化は続いていく。

和ケアホーム」と「しろばとメディカルケアホーム」を開設している。両施設とも医療依存度が高い患者を受け入れるため、看護師が常駐し、主治医が24時間対応する。一方、生活面において一切制限はなく、ペットや私物を持ち込むこともできる。「在宅療養の延長として過ごせる施設で、最期の数時間は自宅で過ごしたいという要望にも応えられるようにしています。在宅療養で容態が悪化している間だけ、一時的に利用していただくことも可能です。自宅での療養が困難となれば、その2時間後には受け入れが可能な体制を取っているため、ギリギリまで自宅で療養していただけます」



在宅療養支援診療所

しるばとクリニック

住み慣れたご自宅での生活・療養をサポートいたします

当院は外来診療部門以外に在宅訪問診療に力を入れています。在宅医療では年間100名以上の看取り実績があります。看取りを目的とするのではなく住み慣れた自宅で安心して療養出来る環境を整える事を目標にしており、看取りはその延長上にあるものだと考えています。

病院を退院するにあたり自宅での生活に不安がある方も、たくさん相談に来られます。独居の方が自宅で療養を希望され看取りまですることも少なくはありません。また、高齢で病状が安定せず入院する事で認知症やADLが悪くなるのではないかと心配な方も多く相談に来られます。現在、がん治療されている方も今後の事について「がん相談外来」をご活用下さい。



訪問エリア



TEL.072-928-4877
FAX.072-928-4878

受付時間：月～金曜日 / 午前9:00～午後18:00
MAIL: info@shirobato.com
診療科目：内科・外科・在宅医療
〒581-0803 大阪府八尾市光町1丁目29番地
サンフォレスト104号



しるばと訪問看護ステーション

住み慣れたわが家で暮らし続ける...

訪問看護サービスとは？

主治医の指示に基づき看護師や理学療法士等が訪問し症状に合わせて看護やリハビリを提供します。病気などの予防から看取りまで支えます。

当ステーションの一番の特徴

クリニック附属のステーションなので随時医師と連携がとれるため対応が早いという事です。例えば発熱のある方に対して随時持ち歩いてる点滴や抗生剤を投与する事や、褥瘡の処置内容の指示を受けその場で対応出来ることです。住み慣れたわが家で安心して過ごせるように支援させていただきます。

このような方はご相談下さい

寝て過ごすことが多い方や寝たきりの方

- ▶ 発熱を繰り返すことが多い方
- ▶ 食事が食べにくくなってきた方
- ▶ 介護が大変になってきた
- ▶ 転倒することが多くなってきた

自宅での療養に不安がある方

- ▶ 病院から退院してくるのに不安がある方
- ▶ 点滴しながら退院される方
- ▶ 褥瘡がある方
- ▶ 退院しても自宅でリハビリしたい方
- ▶ 自宅での看取りを考えている方



TEL.072-970-5759
FAX.072-928-4878

営業時間：午前9:00～午後18:00 年中無休
〒581-0803 大阪府八尾市光町1丁目28番地
ルミエール八尾1階



しるばと在宅医療介護情報センター

自宅療養生活の相談窓口



たとえばこんなとき

ご相談内容

- ➔ 病状が重くなった時の相談
- ➔ 生活保護世帯の相談
- ➔ 入院患者の受け入れ先などの相談
- ➔ 施設からの転移 / 転院
- ➔ 在宅から施設入居などの相談

TEL.072-924-5070
FAX.072-924-5071

開室曜日：月～土 (祝日営業)
受付時間：午前9:00～11:30 午後13:00～17:30
〒581-0017 大阪府八尾市高美町1丁目3-12

住宅型有料老人ホーム

しろばと 緩和ケアホーム

疾患として末期がん、難病(ALS、パーキンソン病等)が対象となってきます。自宅で療養する事が困難となればすぐに入所が可能なのが特徴です。

病院退院後直接入所して頂いても自宅療養が可能となればすぐに退所も可能です。そうなった時でも主治医や訪問看護師を継続して担当出来るのも特徴です。面会時間、起床時間、就寝時間やペットや私物の持ち込み、一切制限はありません。



安心できる生活をサポートします



相談スペース・ カウンセリングルーム

個室で生活面での様々な相談をお聞きます



くつろぎスペース

心地よいスペースでゆったりとくつろいでいただけます



居室

清潔感のある広々としたお部屋には洗面設備とトイレも配置されていますので、日々快適にお過ごしいただけます

お問い合わせ先

住宅型有料老人ホーム
しろばと緩和ケアホーム

TEL.072-970-5556

地域医療連携室 上田

TEL.070-5266-3527

〒581-0812 大阪府八尾市山賀町3丁目19番5号



浴室

3つのお風呂は全てが個浴となっています。1カ所はミスト浴(写真)となっていますので、いつでも安心して入っていただけます

サービス付き高齢者向け住宅

しろばと 医療ケアホーム

当施設はまだまだ医療依存度が高いため、また病院への入退院を繰り返す事で一般的な老人ホームでの受け入れ困難な方でも入所が可能であり、医療処置を同時に受けながら療養可能な施設です。疾患として誤嚥性肺炎を繰り返す方や重度の心不全や臓器不全、老衰時期の方々が入所されています。レントゲン検査や胃瘻交換も施設内で受けられるのも特徴です。CT検査、MRI検査も協力病院の連携により随時可能です。



私たちがお世話させていただきます



食堂

健康に配慮したバランスの良いメニューをお楽しみいただけます



居室

清潔感のある広々としたお部屋で、日々快適にお過ごしいただけます



検査

居室でのレントゲン撮影

浴室

各階に個浴があり、毎日の疲れを癒していただけます

お問い合わせ先

サービス付き高齢者向け住宅
しろばと医療ケアホーム

TEL.072-929-9401

地域医療連携室 上田

TEL.070-5266-3527

〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘1丁目3番地